



グリーンヒルズ津山ガラスハウス

プールのあり方を 市民目線で検討

津山市には、4カ所の市営プールと、35カ所の学校プールが存在します。しかし、維持管理費や老朽化に伴う改修で、将来的に多額の負担が必要となる大きな課題となっています。これまでにも津山市では、市営プールを使用した秀実小学校水泳授業の民間委託試行や市営プールのサウンディング型市場調査（※）を行ってきました。

今回の9月定例会では、津山市当局より、プールのあり方について、市民の皆様が専門家のコーディネートのもとで議論し、取りまとめた結果を市に提言する「津山自分ごと化会議」の事業費307万円の補正予算が提出されました。

市議会でも、この「津山自分ごと化会議」の提言を参考にし、プールのあり方の協議を進めていきたいと考えています。

津山自分ごと化会議
(プールのあり方検討会議)

市民が主体となって、津山市の直面する課題を「自分ごと」として捉え、市民本位の解決策を検討する会議で、本市では初の試みとなる。

無作為抽出で選ばれた市民が相互に話し合い、プール施設の現状と課題を理解しながら、その必要性や今後のあり方を考える。

11月から来年1月までに4回の会議を予定している。



久米総合文化運動公園市民プール

本会議での質問

問 会議内容に学校プールも含まれているが、教育内容・現状を熟知している参加者は少ないのでは？

答 教育委員会とも十分協議し、学校教育における水泳学習の意義や現状についても参加者に伝えられるよう検討する。

問 プールの課題は、政治の責任である。市長の意思で判断しては？

答 様々な意見を踏まえ、私（市長）自身が最終的な判断をしたいと考えている。



勝北総合スポーツ公園プール



学校プール35カ所



加茂町スポーツセンタープール

全国植樹祭を岡山県北に誘致する決議を可決

今回の定例会最終日に、津山市議会の産業委員会から「第74回全国植樹祭の開催地を岡山県北に誘致することに関する決議（※）」が委員会提出の議案として提出されました。

決議の概要

豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春に開催されている第74回全国植樹祭の開催地が岡山県に内定した。（令和5年に開催予定）

ヒノキの生産量が日本一である岡山県において、森林面積の大半を占め、複数の森林関係機関も所在している岡山県北地域に開催地を誘致すべきと考え、津山市当局に対して、誘致活動を強力に進めることを求める。

本会議において、この決議案の採決を行った結果、賛成全員で**可決**されました。

この決議により、津山市議会としても、全国植樹祭の岡山県北開催に向け、誘致活動を支援していきます。



※決議…議会が行う意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議決

※サウンディング型市場調査…公募による民間事業者と対話の場を設け、公共施設等の市場性や活用アイデアを把握するための調査